



## 平成31年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年7月12日

上場会社名 株式会社N o. 1 上場取引所 東  
 コード番号 3562 URL https://www.number-1.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 辰巳 崇之  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理本部長 (氏名) 竹澤 薫 TEL 03-5510-8911  
 四半期報告書提出予定日 平成30年7月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年2月期第1四半期の連結業績（平成30年3月1日～平成30年5月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第1四半期	1,929	106.8	25	—	19	—	11	—
30年2月期第1四半期	1,806	—	△25	—	△41	—	△29	—

(注) 包括利益 31年2月期第1四半期 13百万円 (—%) 30年2月期第1四半期 △29百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第1四半期	7.55	7.14
30年2月期第1四半期	△20.58	—

(注) 1. 平成29年2月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成30年2月期第1四半期の対前年度同四半期の増減率は記載しておりません。

2. 平成30年2月期第1四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第1四半期	3,407	1,670	48.8
30年2月期	3,726	1,655	44.3

(参考) 自己資本 31年2月期第1四半期 1,664百万円 30年2月期 1,650百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年2月期	—	—	—	—	—
31年2月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成31年2月期の連結業績予想（平成30年3月1日～平成31年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	7,908	2.5	328	18.0	317	18.5	208	14.5	133.35

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 (社名) ー除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年2月期1Q	1,563,520株	30年2月期	1,562,890株
② 期末自己株式数	31年2月期1Q	ー株	30年2月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年2月期1Q	1,563,424株	30年2月期1Q	1,434,682株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用情勢や所得環境、企業収益の改善等を背景に、緩やかな回復基調が続いております。一方で、懸念される米国の保護貿易主義政策にともなう貿易摩擦の激化や中東・東アジア地域における地政学的リスクの高まりなど先行きについては不透明な状況が続いております。

当社グループが属するOA機器及びそれらを取り巻く情報セキュリティ機器販売市場におきましては、サイバー攻撃がますます巧妙かつ複雑化し、仮想通貨の流出事故なども起きたことにより、企業にとって重大な経営リスクとして認知され、依然としてITへの投資が拡大傾向にあります。

このような状況の中、当社グループでは、今期の重点課題として、さらなる提案力強化及び成約率向上を図るため、属人的な営業から組織的な営業手法へ移行させるための環境整備及び構築、新たな販路の拡大への取組み強化及び自社企画商品の商品ラインナップの充実に向けた取組みに注力してまいりました。

なお、当初の計画どおり積極的な新規採用者及び即戦力とするための人材育成にも注力したことにより、人件費が増加しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,929,280千円（前年同期比6.8%増）、経常利益は19,660千円（前年同期は41,536千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11,805千円（前年同期は29,530千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、セグメント毎の業績は次のとおりであります。

## ① オフィスコンサルタント事業

オフィスコンサルタント事業におきましては、積極的な新規採用により、営業稼働人数が増加したことで、OA関連商品及び情報セキュリティ商品等の主力商品販売は概ね堅調に推移いたしました。

また、Web販売については、前期に課題を残しましたWeb制作部門におけるコストコントロールの改善に取り組んだことで好調に推移いたしました。

この結果、売上高は1,293,248千円（前年同期比7.0%増）、セグメント利益は14,373千円（前年同期は37,092千円のセグメント損失）となりました。

## ② システムサポート事業

システムサポート事業におきましては、1台当たりのカウンター売上高は依然として横這いではあるものの、概ね予想どおり推移いたしました。

また、オフィス通販の売上高は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は636,031千円（前年同期比6.5%増）、セグメント利益は11,361千円（同5.9%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末比365,666千円減少し、2,895,668千円となりました。これは主に、売掛金の減少257,303千円及び現金及び預金の減少51,328千円によるものであります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末比47,513千円増加し、512,292千円となりました。これは主に、営業所の移転に伴う敷金の増加14,641千円によるものであります。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末比295,362千円減少し、1,519,676千円となりました。これは主に、買掛金の減少75,100千円及び未払金の減少175,753千円、未払法人税等の減少58,581千円によるものであります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末比37,532千円減少し、217,839千円となりました。これは主に、社債の減少30,000千円によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末比14,741千円増加し、1,670,445千円となりました。これは主に、利益剰余金の増加11,805千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は44.3%から48.8%に増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年4月12日の「平成30年2月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,828,566	1,777,237
売掛金	1,121,826	864,523
商品	66,777	57,685
仕掛品	11,286	23,071
貯蔵品	6,588	6,641
その他	236,006	184,088
貸倒引当金	△9,716	△17,580
流動資産合計	3,261,335	2,895,668
固定資産		
有形固定資産	119,272	138,672
無形固定資産	27,861	26,172
投資その他の資産		
その他	373,583	393,484
貸倒引当金	△55,937	△46,037
投資その他の資産合計	317,645	347,447
固定資産合計	464,779	512,292
資産合計	3,726,114	3,407,961

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	589,735	514,635
短期借入金	290,000	290,000
1年内償還予定の社債	80,000	80,000
未払法人税等	71,404	12,823
未払金	600,872	425,118
賞与引当金	-	19,111
その他	183,025	177,986
流動負債合計	1,815,038	1,519,676
固定負債		
社債	80,000	50,000
アフターサービス引当金	23,577	22,867
退職給付に係る負債	21,525	25,581
資産除去債務	13,762	13,789
その他	116,507	105,601
固定負債合計	255,372	217,839
負債合計	2,070,411	1,737,515
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	518,339	518,489
資本剰余金	564,009	564,159
利益剰余金	563,002	574,807
株主資本合計	1,645,351	1,657,456
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,529	7,133
その他の包括利益累計額合計	5,529	7,133
新株予約権	3,627	4,644
非支配株主持分	1,194	1,210
純資産合計	1,655,703	1,670,445
負債純資産合計	3,726,114	3,407,961

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)
売上高	1,806,403	1,929,280
売上原価	1,139,139	1,179,674
売上総利益	667,264	749,605
販売費及び一般管理費	692,287	723,870
営業利益又は営業損失(△)	△25,023	25,735
営業外収益		
受取利息	504	368
受取配当金	99	109
助成金収入	300	-
貸倒引当金戻入額	-	660
その他	768	551
営業外収益合計	1,673	1,689
営業外費用		
支払利息	2,145	2,533
上場関連費用	12,576	-
支払手数料	1,476	5,231
その他	1,988	-
営業外費用合計	18,186	7,764
経常利益又は経常損失(△)	△41,536	19,660
特別損失		
固定資産除却損	-	0
特別損失合計	-	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△41,536	19,660
法人税等	△12,035	7,840
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△29,501	11,820
非支配株主に帰属する四半期純利益	28	15
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△29,530	11,805



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△29,501	11,820
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	214	1,603
その他の包括利益合計	214	1,603
四半期包括利益	△29,286	13,424
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△29,315	13,409
非支配株主に係る四半期包括利益	28	15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	オフィスコンサルタント事業	システムサポート事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,209,008	597,395	1,806,403	-	1,806,403
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	1,209,008	597,395	1,806,403	-	1,806,403
セグメント利益又は損失(△)	△37,092	12,069	△25,023	-	△25,023

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年3月1日至平成30年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	オフィスコンサルタント事業	システムサポート事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,293,248	636,031	1,929,280	-	1,929,280
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	1,293,248	636,031	1,929,280	-	1,929,280
セグメント利益	14,373	11,361	25,735	-	25,735

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。